

授業科目名 情報科学	第二看護学科 2年次 後期 1単位 (30時間)
------------	--------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

社会や人間における情報を、科学的に処理する方法を学び、情報化社会に対応する基礎知識を学ぶ。

- 1) 演習を通じて、データの収集、整理、分析の方法を理解する。
- 2) 「情報」に関する基礎的な知識、「情報」を取り扱う上で必要とされる情報倫理や患者の権利について理解する。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	ガイダンス、看護情報、情報倫理と法	講義・演習	
2	情報倫理と法、医療情報		
3	医療情報、情報基礎		
4	情報基礎、情報セキュリティ		
5	知的財産権、統計とは、厚生統計の基礎知識		
6	パソコンの基本操作、ビジネス文書とは		
7	ビジネス文書の作成		
8	表現力をアップする機能、タブレットを利用した文書、段組み/差し込み印刷		
9	Excel2013 について、表作成		
10	グラフ作成		
11	分析ツール、データベースさし		
12	ピボットテーブル、複数シートの操作		
13	プレゼンテーションの概要、PowerPoint について、スライドの作成		
14	スライドの作成/編集		
15	スライドショーに役立つ機能、Webによる情報収集		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料	※USB フラッシュメモリを各自で準備する
参考文献: 大木秀一「看護統計学入門」医歯薬出版	
日本医療情報学会「新版 医学情報学第5版 医療情報システム編、情報処理技術編、医学・医療編」篠原出版新社	
太田勝正、前田樹海「エッセンシャル 看護情報学第2版」医歯薬出版	
一般財団法人 厚生労働統計協会「厚生統計テキストブック」一般財団法人厚生労働統計協会	

IV. 成績評価の方法

筆記試験、出席状況、提出物

授業科目名 倫理学	第二看護学科 3年次 後期 1単位(30時間)
-----------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

人間が人間らしく生きる意味と在り方について、生命倫理や職業倫理の学習を通して理解する。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	倫理／倫理学とは何か	講義	
2	倫理学の基礎理論 (功利主義・義務論)		
3	応用倫理学概観		
4	生命倫理学概観		
5	安楽死・終末期医療 (1)		
6	安楽死・終末期医療 (2)		
7	臓器移植・脳死 (1)		
8	臓器移植・脳死 (2)		
9	生命倫理		
10	生命倫理		
11	人工妊娠中絶		
12	出生前診断		
13	人工授精・体外受精・代理出産 (1)		
14	人工授精・体外受精・代理出産 (2)		
15	まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、参加状況

授業科目名 心理学	第二看護学科 3年次 前期・後期 1単位 (30時間)
-----------	-----------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

人間の行動や原理を知り、自己を理解して、他者を理解する視点を学ぶ。

II. 授業計画

回	授業内容		講義・演習	備考
1	心理学	心の発達について	講義	
2		人格の発達		
3		知的能力の発達		
4		学習のはたらき：行動変容について①		
5		学習のはたらき：行動変容について②		
6		欲求とストレス		
7		心理療法の紹介		
8	臨床心理学	自己理解を深める	講義	
9		伝える—フィードバックの留意点		
10		カウンセリングの聴き方と応え方		
11		看護場面で活かすコミュニケーション①		
12		看護場面で活かすコミュニケーション②		
13		自己表現を学ぶ—コンセンサス		
14		チームワークとリーダーシップ		
15		ストロークを支える 受け取る		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、参加状況

授業科目名 教育学	第二看護学科 2年次 前期 1単位(30時間)
-----------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

教育の本質と理念を学び、看護における教育的活動の基礎を学ぶ。
生涯教育の必要性について理解し、学び続ける姿勢を身に付ける。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	オリエンテーション ケアする営みとしての教育と看護	講義	
2	学校の役割と機能		
3	学校の役割と機能		
4	多様化する教育現場		
5	多様化する教育現場		
6	多様化する教育現場		
7	多様化する教育現場		
8	教育課程とそのあり方		
9	教育課程とそのあり方		
10	教育の目標と評価		
11	教育の目標と評価		
12	教育方法と技術		
13	教育方法と技術		
14	教育方法と技術		
15	教育におけるケアの意義		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、出席状況、レポート

授業科目名 社会学

第二看護学科
3年次 前期
1単位 (30時間)

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

- 1) 人間の社会の構造や役割、関係等を知り、社会的存在としての人間を多面的に理解する。
- 2) 社会におけるマネジメントの構造や関係性を理解し、組織における計画・調整・統制の基礎を学ぶ。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	イントロダクション 社会学 社会とは	講義	
2	制度的文化	演習	
3	私という存在		
4	コミュニケーション		
5	制度的文化		
6	文化 地位と役割		
7	社会変動		
8	技術革新 情報化がもたらす変化		
9	性・ジェンダー		
10	家族 (1)		
11	家族 (2)		
12	マネジメント (1)		
13	マネジメント (2)		
14	感情労働		
15	健康格差		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、参加状況

授業科目名 人間関係論	第二看護学科 2年次 前期 1単位(30時間)
-------------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

- | |
|--|
| 1) 人間関係を多面的に捉え、自己の他者へのかかわりの在り方を認識する。
2) コミュニケーションの特性・技能を理解し、実践の基礎を学ぶ。 |
|--|

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	オリエンテーション 対人援助職のコミュニケーション	講義・演習	
2	交流分析理論 TEG 実習による自己分析		
3	自己分析結果の解釈 理論検討		
4	エゴグラムによるコミュニケーション 分析の理論と演習		
5	マイクロカウンセリング1 対人コミュニケーションかかわり技法		
6	マイクロカウンセリング2 質問技法		
7	マイクロカウンセリング3 はげまし 反復技法		
8	マイクロカウンセリング4 感情の反映 共感技法		
9	マイクロカウンセリング5 面接のプロセス		
10	ストレス理論1 ストレスを客観的に理解する		
11	ストレス理論2 対人援助職特有のストレス理解		
12	気分・感情の評価 POMS 2による気分状態の測定		
13	自己主張・アサーションの理論と演習		
14	当事者研究による「つながり」		
15	グループアプローチの機能 患者会の理解		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、参加状況
